

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	令和7年度第1回会津美里町男女共同参画推進審議会
開催日時	令和7年6月26日（木） 午前10時00分から
開催場所	会津美里町役場 本庁舎 大会議室
出席者	町民代表：秋本 尚恵、大木 瑠美子 各種機関代表：安達 和重、鈴木 哲生、杉原 智恵 学識経験者：齊藤 喜代治、佐原 明美 ※欠席：高山 由佳、結城 敏徳、長谷川 祥子 事務局：渡部課長、栗城課長補佐、鈴木係長、中野主事 計11名
議 題	(1) 令和6年度町男女共同参画推進まちづくり行動計画の取組実績について (2) 令和7年度町男女共同参画推進まちづくり行動計画に基づく事業計画について (3) その他
資料の名称	【資料1】第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画実績 【資料2】第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画進捗状況・実施予定表 【資料3】アンコンシャスバイアスと若者・女性の人口流出
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内容	
委嘱状交付 1 開 会（省略） 2 あいさつ 3 委員・事務局紹介 4 会長・副会長選出 会長 安達 和重委員 副会長 秋本 尚恵委員を選出 5 協議（議長：安達会長） (1) 令和6年度町男女共同参画推進まちづくり行動計画の取組実績について (2) 令和7年度町男女共同参画推進まちづくり行動計画に基づく事業計画について 事務局より、次第及び資料1、資料2について説明を行った。 (質疑なし)	

(3) その他

アンコンシャスバイアスと若者・女性の人口流出について説明を行い、各委員に意見を求めた。

委員：急に発言を求められても考えがまとまっていないので発言できない。議論を求めるならば事前に議題を提示しておくべき。

委員：難しい問題ではあるが、働く場所を確保することが必要であると思う。また、住み続けたいような魅力づくりが必要なのではないか。

委員：若者・女性の人口流出を抑制するため、魅力的な職場づくりや福利厚生のために事業所は努力していかなければならない。

委員：女性が大半を占める職場で働いているが、女性が働きやすい職場づくりを事業所は目指していかなければならないと思う。

委員：アンコンシャスバイアスという考え方は若い世代ではあまり意識されていないと感じるため、アンコンシャスバイアスが人口流出の原因とは考えにくい。生き方の多様化に伴い、選択肢の多い首都圏に出ていく若者が増えているのではないか。地元で生きていけるモデルケースが必要であるとする。

委員：アンコンシャスバイアスと人口流出はあまり関係ないと思う。都会に進学や仕事を求め、理由がなければ地元に戻ることは少ないと感じる。また、地元に戻ると何かあって戻ってきてのではないかと噂されることもあるため、地元に戻りづらい。

委員：今の若い世代はアンコンシャスバイアスを植え付けられないような教育課程の中で育っているためそのような意識はあまりないと感じる。逆に上の世代の方から、「結婚しないのか」と言われたり、未婚であることを噂されることによって、生きづらさを感じ、地元を離れていってしまう人がいるのではないか。

委員：私の年代は「男性は男性らしく、女性は女性らしく」というような考えの中育った。しかし、今の時代はそのような考え方を切り替えていかなければならない。そして、私たち委員一人一人が男女共同参画を推し進めていかなければならないと感じている。

事務局：委員からご指摘いただいたとおり、急にこのような難しい問題を投げかけてしまい大変申し訳なかった。事務局としては、事前に調べて意見を述べていただくのではなく、

委員の皆さんにその場で率直な意見をいただきたいという意図で行った。

委員：事前に議題を提示され、意見を形成できれば、より有意義な議論ができたのではない
か。アンコンシャスバイアスという言葉も初めて聞く状況の中で議論をしと言われて
も無理がある。

事務局：配慮が足りず、大変申し訳なかった。審議会は委員の皆さんの意見を伺う場にしてい
きたいと考えている。次回からは事前にテーマをお示しし、議論に臨みたいと考えて
いるので、今後ともよろしくお願いしたい。

6 その他

事務局：次回の審議会は10月頃を予定している。内容は男女共同参画川柳コンクールの審査
となる。また、現行の会津美里町第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画は令和
8年度で終了となり、令和9年度からは会津美里町第5次男女共同参画推進まちづく
り行動計画が開始される。令和8年度は計画策定年度となり、4回ほど審議会を予定
しているので、委員の皆さんにはご協力をお願いしたい。

以上、開催記録として報告します。